

大学マネジメントの組織行動論

社会と大学の価値を最大化する
Value Maximization

Q：教員・事務職員・URAとはどんな人たちか？

■教員

- 自治会の構成員であり、「組織の利益」を考えることが苦手である。
- 会議は誰が決めたかわからない、責任回避のためのもの。
- 「自らがやりたいことができる」環境の維持と確保が部局・大学執行部の仕事であると感じている。

■事務職員

- 責任を取りたくても取れない制度の中で仕事をしている（“できる事務の人”はこっそりと責任を取り仕事をしている）。
- 決まったことを忠実に実行する = それが組織のための仕事である。

■URA

- 自らの学術活動・経験で身につけた専門性・汎用的スキルを用いて研究者の支援（研究資金の獲得等）を行なう専門職であると感じている。
- 一方で、専門職として組織からうまく使われていないのではないかと感じている。

Universality

Specialty

専門性

Experience
& Expertise

スキル

大阪大学人間科学部卒業
人間科学研究科退学（行動学専攻）

大学全体を変えなければ目の前の問題は解決できないのではないか？

務
■ H28概算要求評価指標作成のコンサルテーション

育リーディングプログラム、複
作成コンサルテーション
推進事業、申請書作成（コン
め）・ヒアリング資料作成支
チームのメンバーとなる：研究
ックス検討委員会など
事務局長：企画運営
グローバル大学創成事業 申請書作
プログラム立ち上げ後の企画業

大阪大学未来戦略機構 次世代研究型総合大学研究室

Division for the Study of Next-Generation Research University

NEX

次世代研究型
総合大学研究室